

第1回総合計画策定審議会（8/20開催） 質疑応答 全文

【アンケート調査について】

Q 委員

問13について積極的に進めてほしいことは何ですかとあるのですが、「これは時代にそぐわないのでいいのではないか」という項目もあってもいいのではないかと思う。

例えば、今このようなご時勢なので、外国人観光客の受け入れ態勢はこの2・3年はまだいいのではないかとか、5Gについては、健康被害等も報告されているので、あわてて導入するよりは、少し様子を見たほうがいいのではないかと、まあこれにはいろいろな意見があるとは思いますが、そういうこともあるので、これはちょっと保留でいいんじゃないかという項目についても入れてもいいのかなと思う。

A 事務局

大変貴重なご意見ありがとうございます。

確かに現在の情勢を考えるとコロナの関係もありますし、5Gについては未発達な技術の部分もあるということで、積極的に進めてほしい項目と、今保留すべきではないかという二つの設問があってもいいのではというご意見でした。

内部で検討させていただきたいと思います。

Q 委員

私のほうからは事前にいただいている資料について3点。

まず一つ目は前回アンケートを実施した際に、回収率がどれくらいあったのかということと、回収したアンケートからその後策定していくに当たって、どの程度内容が活かされたのか、反映されたのかということについて、今日じゃなくてもいいのでもし資料がありましたら報告いただきたい。

2つ目は問7の設問について「あなたにとって岩内町は住みよい町ですか」ということで、住みよいか住みにくいかでこの後の問が分かれるのですが、例えば概ね住みよいと思っただけでも、ここを改善してほしいという人の意見を拾える設問の方法はないのかと感じました。

3つ目は、問12で「岩内町の行政サービスに満足していますか」という質問に対しての回答項目が、項目なしのフリースペースになっているのは回答のハードルが少し上がってしまう気がする。アンケート答える人が面倒臭くなってざっくりしか書かなくなってしまうのでは。本来ここはすごい大事にしなければならない部分だと思う。もちろん行政の皆さんが自分たちの仕事に対してのネガティブ要素を列挙しなきゃならない「いずさ」はあるとは思いますが、そこはしっかりアンケートで拾いたいところでもあると思いますので、しっかりと項目を載せたほうが良いと思います。

A 事務局

1点目の前回アンケートの回収率についてですが、第4次計画、平成19年にアンケートを実施しております。同じく発送数は1,500通ありまして、回収数が664通で回収率は44.3%。有効回収数についても664通で有効回収率は44.3%。

今回のアンケートについては、前回以上の回収率を目指していきたいと考えております。

また、アンケート内容がどのように生かされたかにつきましては、前計画であります、総合計画の中でもアンケートの項目は触れておりまして、そのアンケート結果をもとに基本構想、基本計画、と順序だてた作りとなっております。詳細についてはもう少し前回アンケートを細かく調べる必要があるため、ここでは即答できませんので、後日お伝えいたします。

2点目について、問7に関しまして、委員おっしゃるとおり、ここで住みよい町か、そうではないかという二択の質問になって、それぞれ理由を3つまで選ぶという設問になっておりますが、そこを選びながらも、かつ、いいところ・わるいところを指摘できるような仕組みにしてほしいとのことでしたが、ここについては、反対の部分をどう引き出せるか、事務局で再度検討したい。

3点目、問12の自由記載の部分について、正直事務局としても自由記載にするとハードルが上がり、手が止まってしまうのではないかと議論になりました。ただやはり自由に書きたい方もいるのではということもありまして、前回と同様の方法で自由記載欄を作りました。ネガティブな項目を羅列するというご意見いただいたのですがどうでしょうか。やはり項目立てて悪いと思われる項目を選ばせるほうがやりやすいですかね。

Q 委員

例えば、行政が民間のやり方に合うかどうかはわからないんですけども、顧客が満足していない部分を汲み取りたいと思ったときに、例えば「窓口の対応」なのか「対応スピード」なのか、具体的な項目を拾いたいはず。せっかくアンケートをやるのであれば、行政サービスという部分を見つめなおすとした場合、具体的な項目、確かにネガティブなことばかり書き出すので、あまりやりたくない仕事ではあるとは思いますが、そこはしっかり具体的な項目で拾えたほうが、後の行政に生かされてくるのではないかと感じました。

A 事務局

ありがとうございます。内部で検討いたします。

Q 委員

オンラインを活用したアンケート実施は考えているのかご意見を伺いたい。

というのも、意見がちゃんと反映されているかというのはオンラインだと追いやすい。そこところからもっと若手が積極的にまちづくりに参加できる仕組みを作ることが必要なのではないかと。若手が入りやすい、20代や10代、もっと若い世代が、大人がこういう風に岩内のことを考えているんだ、というのを見る機会というのもすごく大事だと思う。

A 事務局

事務局でもオンラインのアンケートは検討いたしました。ただ検討した結果紙ベースという答えになってしまったのですが、実はオンラインによるアンケートについて調べていく中で、集計は非常に楽ですし、効果的な手法であることは勉強させていただいたのですが、オンラインでやる上で、本当に町民かどうかというところで、線引きが難しいという点があることがわかりました。最終的には住民基本台帳をベースに町民に直接届けるという方法を選択しました。対象者への後からのフォローも大事だと思いますので、SNSやHPで「こういったアンケートを届けました。ぜひご回答ください」という側面的なバックアップは必要だと考えています。

Q 委員

オンラインで回答するよりかは、カメラ一台置いて配信とか、「この人がこういう意見を言っているんだな」とかそういうところを見せるのも大事なことかと思う。

どういう人が今まちづくりを進めているのかを広く見せることで、気軽にまちづくりに参加できるようになるかなと思います。

A 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。

Q 委員

アンケートの問14に④公害対策の充実とあるのですが、公害対策、公害ってというのが、この町の歴史上あったのかなと、だから今なおこの項目が残っているのか。また、新たなものがあってそれに向けてなのか。「公害」というワードにぴんと来なかったものですから、この項目を設定した根拠があれば教えていただきたい。削除してもいいのなら、削除してもいいのではと個人的には思っている。

もう一点、スケジュールについて、資料を見る限り半年そこそこで仕上げていくということに計画と読み取りましたが、前回19年から平成21年3月にかけて足掛け2年～3年の時間をかけております。今回は半年をかけて進めていくということで、なかなか委員の皆さんに内容を伝えていくのが難しくなってくるのかなと感じる。時間、方法について工夫しながら進めていただきたい。

A 事務局

公害の部分について、町の歴史の中で公害に苦しんだことがあるのかと改めて問われると即答できない部分がありますので、再度設問の下調べも含め検討したい。

要望に関しましては、非常にタイトなスケジュールで進めさせていただきますので、なるべく工夫しながら意見を吸い上げられるよう努力していきます。

Q 委員

今回のアンケート用紙はこの用紙のみ配布されるのでしょうか。であれば、内容によっては知識がなければ回答できないものがあるように感じる。〇〇事業といってもイメージがわからない。行政側で考えているイメージがあるのであれが、具体例を明示できるとわかりやすいと感じる。

A 事務局

最近の単語（5G、IoT等）については注釈を入れさせてもらっている。委員のおっしゃるとおり、より今町で進めている事業を連想させられるような注釈も補足してより回答しやすい内容に修正していく。

Q 委員

子どもたちの意見を反映する場はあるのか。

A 事務局

アンケートに関しては20歳以上を対象に実施させていただきます。

その代わりに、岩内高校の生徒を対象にワークショップを予定しております。事務情報化の生徒25名。普通課の生徒25名。2日日程で3つ程度のグループに分け、新しくカードを使ったゲーム感覚でのまちづくりワークショップを企画しております。

【その他】

事務局

本日はどうも大変ありがとうございました。

議案の中にもございましたが、スケジュール案ということで載せさせていただきました。先ほどご説明いたしました3月までに策定する予定としておりますが、町長からもお話しありましたように、町の最上位計画ですので、時間をかければいいというものでもございませんが、ただしかなり密度の濃い計画となります。ただ作ればいいというものでもありませんので、3月から遅れる可能性もないということではございません。

あくまで事務局目標という形で載せさせていただきました。

審議会も今回のような形を想定しておりますが、ただ書面の開催がよろしいのか、もしくはお忙しい中集まっていたくのがよろしいのか、そこについては再度事務局の中で進捗状況をみながら進めていきたいと思っております。

また、先ほど高校生にワークショップを開いていくということでお話いたしました。他の町内団体の方々にも同じようにワークショップを開催し、町民の声を数多く汲み上げていきたいと思っております。コロナの影響でなかなか進まない部分もあるかと思っておりますが、予防に留意しながら進めていきたい。